

今すぐ始めよう!  
**家庭で出来る**  CHECK  
**ゼロカーボンの取り組み**

**家庭で**

- 分別やリサイクルでゴミを減らす
- エアコンの設定温度は冷房28℃、暖房20℃を目安にし、衣服で調整する
- LED照明やエコ家電に替える
- コンポストなどで生ゴミを減らす  
→下記の補助制度をチェック!
- 家の断熱性・気密性を高める
- 太陽光発電や蓄電池を導入する  
→下記の補助制度をチェック!

**おでかけで**

- 自転車や徒歩、公共交通機関で移動する
- エコドライブを心掛ける
- アイドリングストップをする
- マイボトル、マイ箸を利用する
- 家でエアコンを使わずに公共の場所やお店で涼んだり暖まったりする(クール・ウォームシェア)
- エコカーに買い替える

**買い物で**

- マイバッグを持参する
- 食材の買い過ぎに気をつける
- 旬のものや地元のものを食べる
- 賞味期限の近いものから買う
- すぐ使うものはおつとめ品を選ぶ
- 宅配便は1回で受け取る

冷蔵庫を  
チェックして  
から買い物  
に行くね

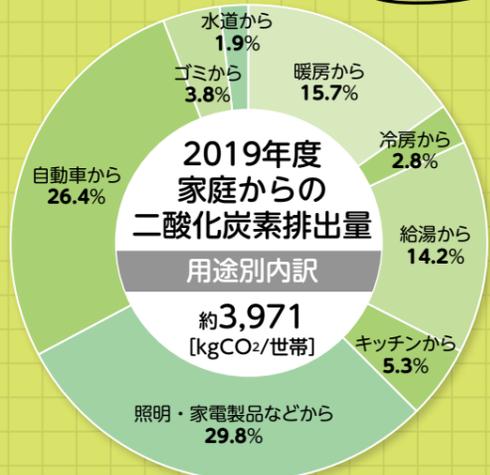


鵜川さん一家(八日市町)

ぼくらも  
ご飯を残さず  
食べるよ

次はエコカーに  
買い替えようか

**Check!**



CO<sub>2</sub>のほとんどはエネルギーを使うことで発生しています。そのため、電気、ガス、ガソリンなどの利用を減らせば、家庭から排出されるCO<sub>2</sub>の量を大きく減らすことが出来ます。  
 (出典：温室効果ガスインベントリオフィス)

**CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みを応援**  
 (新設・拡充分)

対象や補助率など、詳しくはこちら▶



※一部9月補正に係るものが含まれており、予算の成立が前提となります。

**再生可能エネルギー設備設置費補助金 新設**

- 住宅用太陽光発電システムと住宅用蓄電池システムの同時導入…一律10万円
- 住宅用蓄電池システムのみ導入…一律5万円

**バイオマス設備設置費補助金 拡充**

- 薪ストーブ、木質ペレットストーブ、木質バイオマスボイラの設置…  
 本体設備費が50万円未満の場合：補助率2分の1、上限10万円  
 50万円以上の場合：補助率5分の1、上限30万円

**家庭用生ごみ処理機及びコンポスト等設置事業補助金 拡充**

- コンポストなどの購入…補助率3分の2、1台当たり上限7,000円(1世帯2台まで)

地球の環境を守るため、小松の自然や文化を未来へ引き継ぐため、私たち一人ひとりが出来ることを始めましょう。

**みんなで取り組む  
ゼロカーボンシティ**

**Check!**

**日本の年平均気温は大幅に上昇している**

日本の年平均気温は、100年当たり1.26℃の割合で上昇しています。これは世界の年平均気温の2倍近い上昇率です。  
 (出典：気候変動監視レポート2020)

**このまま何もせずに地球温暖化が進むと**

- 豪雨、洪水、干ばつ、熱波、森林火災が頻発する
- 海面の上昇や高潮により沿岸部や島しょ部、平野部の一部で居住出来なくなる
- 異常気象でインフラなどの機能停止
- 食料、水が不足する
- 多くの生態系が危機に瀕する など

**STOP!**  
地球温暖化!



問い合わせ

環境推進課 ☎24・8067

**世界で頻発する異常気象**

近年、世界各地で深刻な自然災害が多発しています。日本でも集中豪雨や猛暑などが頻発しており、今後更に自然災害のリスクが高まると予測されています。  
 これは、大気中の二酸化炭素(以下「CO<sub>2</sub>」)など温室効果ガスの濃度が上昇して地球の平均気温が上がる地球温暖化が一因とされています。このまま温暖化が進むと、様々な面での影響が心配されています。

**温暖化を防ぐゼロカーボン**

この気候変動を抑えるには、2050年までにCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにすることが(ゼロカーボン)が必要とされています。地球環境を守るため、世界が今ゼロカーボンに向けて動き始めています。  
 (※CO<sub>2</sub>の人為的な発生源から排出される量と、森林などで吸収される量の均衡を達成すること)

**ゼロカーボンシティ宣言**

8月25日、市はゼロカーボンシティ宣言を行いました。これは、2050年までに小松市におけるCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指すことを表明するもので、全国の自治体で広がっています。



宣言文など  
詳しくはこちら▶



**目標達成に向けて**

地球温暖化を防ぎ、ふるさと小松の自然や文化を100年後の未来へ引き継ぎ、またその思いを子供たちにも受け継ぐために、市民・事業者・市が共に力を合わせて、積極的に脱炭素に取り組んでいきましょう!